

はじめに

昭和62年就業構造基本調査は、10月1日現在において、総務庁統計局の主管のもとに、全国一斉に実施されました。

この調査は、わが国人口の就業、不就業に関する基本的構造を明らかにすることを目的として昭和31年以来ほぼ3年ごとに実施され、57年以後は5年ごとに実施することとなり、今回の62年調査（第11回目）は、全国の約100分の1の世帯（約37万世帯）について、標本調査の方法によって行われました。

三重県においては、468調査区、約6千世帯（15歳以上の者約1万7千人）について調査を実施しました。本書は、この調査結果に基づき、三重県における15歳以上人口約141万人についての推計結果を収録したものです。

この結果が、今後の雇用対策や経済政策のための基礎資料として活用いただければ幸いです。

なお、この資料を刊行するに当たり、調査の実施に御協力いただいた世帯並びに調査関係者に深く感謝の意を表します。

平成元年7月

三重県地域振興部統計課